

年間学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・加法及び減法を適切に用いることができるようにするとともに、乗法についての理解を深め、適切に用いることができるようにする。また、除法の意味について理解し、その計算の仕方を考え、用いることができるようにする。 ・かさ、重さや時間などの単位や測定について理解できるようにする。 ・図形を構成する要素に着目して、基本的な図形について理解できるようにする。 ・資料を整理して表やグラフに表したり用いたりすることができるようにし、それらの有用さが分かるようにする。
--------	--

学期	学習内容・到達目標	学期	学習内容・到達目標
前期	<p>たし算とひき算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(3位数)±(3位数)の計算のしかたや、計算の確かめのしかたがわかる。 <p>かけ算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗法に関して成り立つ性質がわかる。また、0の乗法や何十・何百に1位数をかける乗法の計算のしかたがわかる。 <p>かけ算のひっさん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習の乗法や計算のきまりを活用して、(2・3位数)×(1位数)の計算のしかたを考えたり、計算のしかたを説明したりできる。 <p>時間と時こく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時刻と時間の違いがわかり、1分=60秒、1時間=60分、1日=24時間の関係がわかる。 <p>表とグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表やグラフをよんだりかいたりできる。また、目的に応じてこれらを使い分けることができる。 <p>長さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻尺の使い方や、「道のり」と「きょり」の意味がわかる。また、kmとmの関係(1km=1000m)がわかる。 <p>かさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単位の大きさを決めると「かさ」を数で表すことができることに気づく。また、かさの大きさによって、ますを選択することができる。 ・1㍉ますと1㍈ますを使って、かさを量ることができる。また、かさの加減の計算ができる。 	後期	<p>わり算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除法が用いられる場面や意味がわかる。また、乗法九九を用いた除法の答えの求め方がわかる。 <p>形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図形の構成要素に着目して、直角三角形や長方形、正方形を弁別したり作図したりすることができる <p>大きな数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・千万の位までの数の構成がわかる。10倍、100倍したり、10でわったりした数の求め方がわかる。 <p>あまりのあるわり算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまりのあるわり算の意味や処理のしかたを具体的な場面と結びつけながら説明することができる。 ・計算やあまりの処理ができる。 <p>2けたのかけ算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗数が2位数になっても、乗数を位ごとに分けて計算し、その部分積をたすと積が求められるという筆算の意味がわかる。 <p>重さ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の重さも他の量と同様に単位とする重さを決め、そのいくつ分で測定できることを筋道立てて考えることができる。 ・はかりを使っていろいろな重さを測り、gやkgの単位を用いて表すことができる。 <p>箱の形</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成要素をもとに箱の形やその組み立て方を考えることができる。 ・箱の形の面を写し取り、開いた形に並べて、もとの箱の形に作り上げることができる。 <p>3年のまとめ</p>

算数科の評価

<p>・算数科では四つの観点で評価します。</p>			
算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解
<p>知識や技能などの有用さおよび数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。</p>	<p>算数的活動を通して、数学的な考え方の基礎を身に付け、事象について見通しをもち筋道を立てて考える。</p>	<p>整数の計算が確実にでき、それらを用いるとともに物の大きさを測定したり、図形を構成要素に着目して構成したり、資料や表やグラフに表したりする。</p>	<p>数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の計算の意味、量の単位と測定の意味、基本的な図形の意味および資料の表し方を理解している。</p>
<p>・次のような方法で見えていきます。</p>			
発言内容	ノートのとまとめ方	プリント	テスト
感想文	ワークシート	練習問題	ドリル
<p>学習態度 発表 取り組む様子</p>			

おうちの方へ

図形や数量について、算数的活動を通して、基礎的な知識と技能を身につけさせたいと思います。学習の定着を図るために、算数ドリルや学習プリントなどを活用し、繰り返し学習します。家庭学習にも取り入れます。励ましの言葉かけをしていただきますとより学習効果が上がると思います。